

SAN CARD SYSTEM ABS-31

取扱説明書

通信制御

・ABS-L31

この度は、本機をお買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用前に、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保管してください。

安全上のご注意

本書および製品添付のその他の取扱説明書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作・お取り扱いについて、次の記号で警告表示を行っています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の説明

■注意(警告を含む)が必要なことを示す記号



一般的注意



指をはさまれないよう注意



感電注意

■してはいけない行為(禁止行為)を示す記号



禁止



分解禁止



接触禁止



ぬれ手禁止



水ぬれ禁止



火気厳禁

■必ずしてほしい行為(強制・指示行為)を示す記号



強制



電源プラグを抜く

警告

使用する時の警告



100V以外の電圧で使用しない。

本機を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100V)以外の電圧や船舶などの直流(DC)電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。



電源コードを傷めない。

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。また、電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。



傷んだ電源コードを使用しない。

電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店に交換を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



アース線を接続する。

ACコードのプラグをコンセントに接続する前にアース線を接続してください。アース線を接続せずに使用すると、万一、漏電した場合に感電の原因となります。



異常状態のまま使用しない。

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。安全を確認して、販売店に修理を依頼してください。



分解や改造をしない。

火災・感電の原因となりますので、内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。



中にもものを入れない。

本機のカード挿入口などから金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。故障や火災・感電などの原因となります。



濡らさない。

本機は屋内専用で設計されています。濡らさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、電源プラグに触れない。

雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないでください。感電の原因となります。



クリーニング液やクリーニングペンは、火気の近くで使用しない。

クリーニング液やクリーニングペンを火気の近くで使用すると、火災の原因となります。

⚠ 注意

使用時の注意



点検時にはコードを抜く。

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となります。



長期間ご使用にならない時。

旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、コンセント部の絶縁低下防止のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となります。



濡れた手で抜き差ししない。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



動作直後は本機内部に触れない。

動作直後は、内部(特にサーマルヘッド、消去ヘッド)が熱くなっていますので触れないでください。火傷、また火災の原因となります。メンテナンス等で内部を扱う際は、一旦機器が冷えてから行ってください。



連続で印字・消去しない。

印字処理は30秒以上の間隔をあけて行ってください。連続で処理を行うとプリンタエラーが発生したり、印字開始までの時間が延びることがあります。



カバーを開けた状態で使用しない。

本機の動作中、駆動部に触れると動作異常、機器故障の原因となり、ケガ、巻き込みなどを引き起こす可能性があります。



上カバーの開閉は手で持ってゆっくり行う。

十分ご注意ください。上カバーの開閉を行ってください。上カバーが閉まる際に指を挟む可能性があります。



クリーニング液やクリーニングペンに含まれた液体を吸い込んだり、飲んだりしない。

人体に害をおよぼす原因となります。換気の良いところで使用してください。使用中に気分が悪くなった場合は、直ちに使用を中止し、新鮮な空気の中で安静にし、医師の診察を受けてください。



クリーニング液やクリーニングペンのペン先に直接肌に触れない。

皮膚の弱い人は、肌がかぶれる原因となります。誤って目に入ったり、皮膚や顔に付いた場合は、直ちに水で洗ってください。



クリーニングペンのペン先を切るときは、危険な作業をしない。

クリーニングペンのペン先をカッターナイフで切るときは、刃を出しすぎたり、空中作業を行ったり、ネジロック式でないものを使用しないでください。ケガの恐れがあります。

⚠ 注意

設置時の注意



放熱を妨げない。

本機には、ケースの底部に通風孔が設けられています。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、動作不良、火災の原因となります。



次のような場所に置かない。

- ◎湿気やホコリの多いところ。
 - ◎調理台や加湿器のそばなどの油煙や湯気があたるところ。
 - ◎熱器具の近く。
 - ◎直射日光や強い光のあたるところ。
 - ◎強度の足りない台や、ぐらついたり傾いたりしたところ。
 - ◎磁気や磁場を発生する機器に近いところ。
 - ◎振動の伝わる場所。
- 以上のような場所に設置すると、火災・感電・故障・けがの原因となります。

⚠ 注意

カード使用時の注意



正常なカードを使う。

折れ曲がったカード、汚れたカードは機器の故障につながりますので、使用しないでください。



指定されたカードを使う。

指定以外のカードをご利用の場合は、カードデータならびに印字品質について保証しかねますので、運用されるカードにつきましては、必ず販売店にご確認ください。



ヘッドクリーニングを行う。

本機をご使用になる前に、必ずヘッドクリーニングを行ってください。カードに付着した手あかや汚れが、機器内部の磁気ヘッド・サーマルヘッド・消去ヘッドを汚し、正常に書き込めない、また印字が薄れる原因となります。

⚠ 注意

管理上の注意



粘着テープ類を無闇に貼らない。

本体ケースの塗装(塗装品の場合)や印刷がはがれる恐れがあるため、粘着テープ類を貼らない様にしてください。



汚れた場合は、乾拭きをする。

ベンジン、シンナー、研磨剤の入った洗剤などを使うと、外装や印刷の変質、塗装はがれ(塗装品の場合)の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

ご使用になる前に

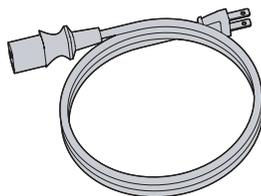
パッケージの内容

パッケージには次の物が梱包されています。万一、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

- ABS-L31（本体）…………… 1台



- ACコード…………… 1本

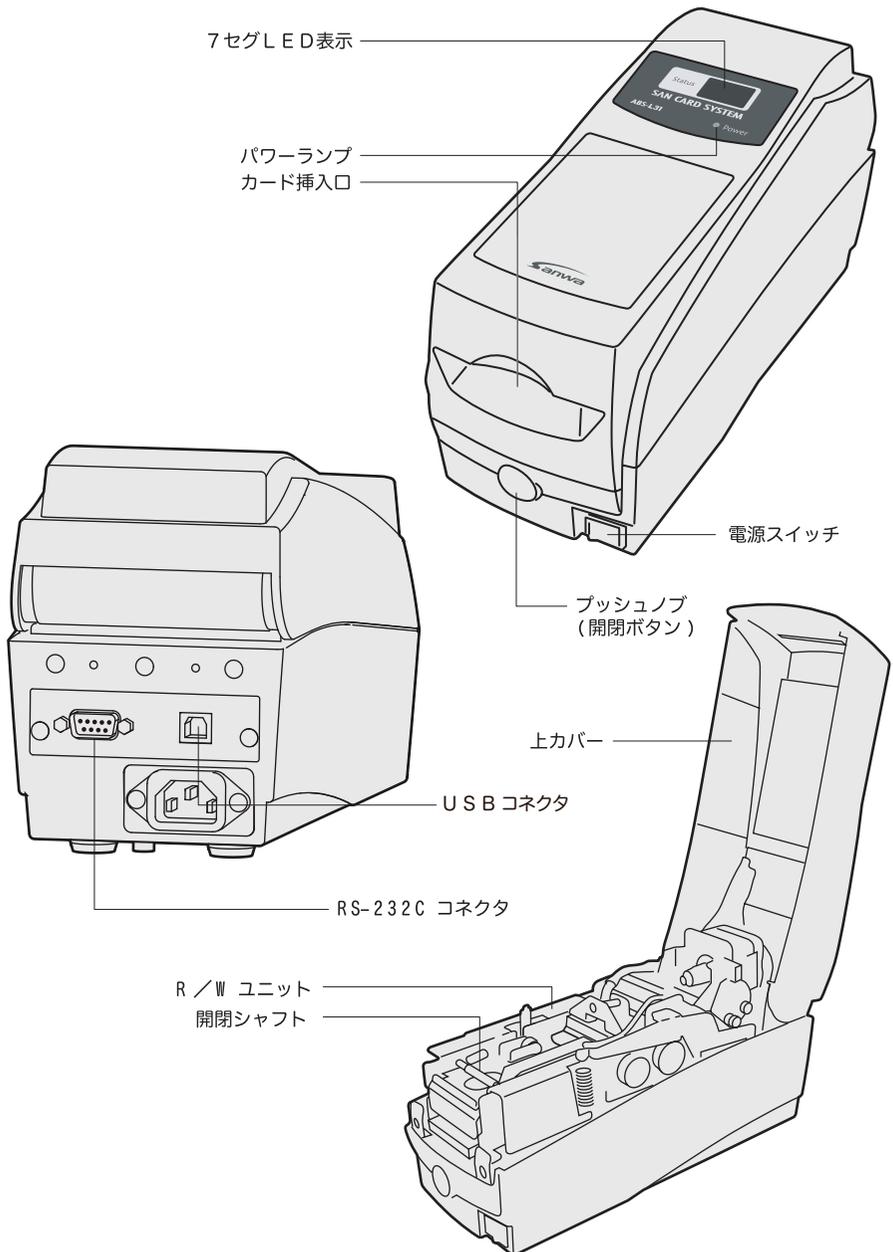


■クリーニング用品

- ・クリーニングキット … 1式
 - クリーニング液 …… 1本
 - クリーニングカード … 5枚
- ・クリーニングペン … 1本

※クリーニングキット又は、クリーニングペンのどちらかが同梱されます。

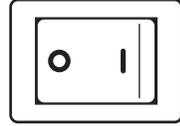
各部の名称



メンテナンス

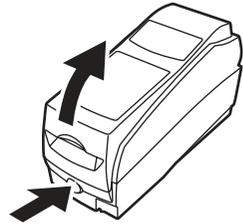
R/W ユニットの開閉

1 電源をOFFにする。



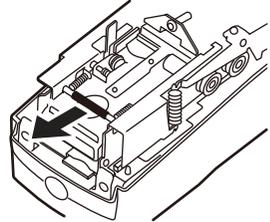
スイッチがOFFの状態。

2 プッシュノブを押し、
カバーを開く。

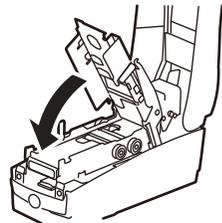


3 開閉シャフトを手前に引き、
R/W ユニットを開く。

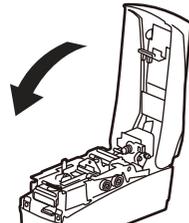
R/W ユニットの緑色の開閉シャフトを
手前に引き、R/W ユニットを
上向きに開いてください。



4 開閉シャフトを
手前に引きながら、
R/W ユニットを閉じる。
しっかりと閉じていることを確認してください。

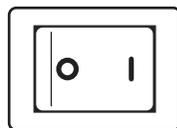


5 カバーを閉じる。



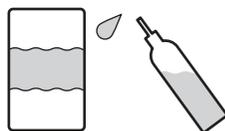
ヘッドクリーニングのしかた <クリーニングキット>

1 電源をONにする。



スイッチがONの状態。

2 クリーニング液をクリーニングカード片面の中央 1/3 つける。



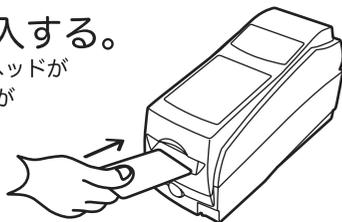
3 クリーニングモードにする。

ホストから設定します。

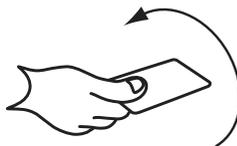
※詳細はホスト側の操作説明書を参照ください。

4 クリーニングカードを挿入する。

自動的に磁気ヘッド・サーマルヘッド・消去ヘッドがクリーニングされた後、クリーニングカードが排出されます。

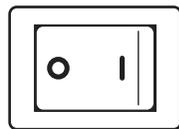


5 再びクリーニングモードにし、クリーニングカードの裏表を返して挿入する。



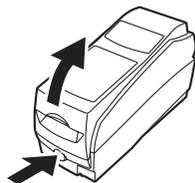
ヘッドクリーニングのしかた <クリーニングペン>

1 電源をOFFにする。



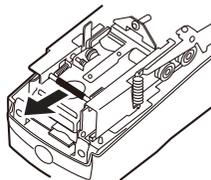
スイッチがOFFの状態。

2 プッシュノブを押し、
カバーを開く。



3 開閉シャフトを手前に引き、
R/Wユニットを開く。

R/Wユニットの緑色の開閉シャフトを
手前に引き、R/Wユニットを
上向きに開いてください。

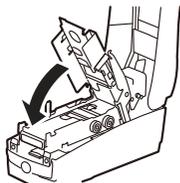


4 クリーニングペンのペン先で
P13の図の部品を拭いてください。

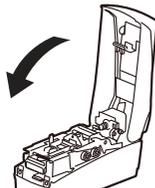
(注意)・駆動ローラー/プラテンローラーを拭く時は、
ブリーチを回しながら拭いてください。
・磁気ヘッドは軽い力で拭いてください。



5 開閉シャフトを
手前に引きながら、
R/Wユニットを閉じる。
しっかりと閉じていることを確認してください。



6 カバーを閉じる。



ヘッドクリーニングについて

ヘッドクリーニングは1日1回、必ず行ってください。

クリーニングを怠ると…

- カードの書込みができない…
- 読取りができない…
- 印字が薄れる…
- 印字が重なる…
- 印字の一部がかすれる…
- 印字が消えない…

このような問題が生じ、汚れによる装置故障を引き起こします。

・サーマルプリンター(熱伝導印刷)による印字をしていますので、汚れによってサーマルヘッド(熱伝導部)を傷つけ、故障を引き起こす可能性があります。1度傷つけますと、大幅に寿命が縮まります。ご使用当初からクリーニングを行うことで装置を長持ちさせることができます。

・クリーニングカードが汚れた場合、新しいクリーニングカードに交換してください。50回ご使用毎の交換が目安です。クリーニング液やカードを使い切った場合は、クリーニングキット(クリーニング液・クリーニングカードのセット)を販売店(購入先)にてご注文ください。また、頑固な汚れを除去するのに有効なクリーニングペンもご用意しております。

詳しくは、販売店(購入先)へお問い合わせください。

トラブルシューティング

症 状	原 因	対処法
全く作動しない。	電源が入っていない。 上カバーが開いている。 通信異常。 通信ケーブル挿入不十分。 通信ケーブルが違う。 通信設定が違う。	ACケーブルをしっかりと差し込んでください。(AC100V) 上カバーを閉じてください。 通信ケーブルをしっかりと挿入してください。 指定のケーブルをご使用ください。 販売店または当社営業所へご相談ください。
	機器の故障。(上記の対応を行っても症状が改善されない場合)	販売店または当社営業所へご相談ください。
本機がカードを読めない。	R/Wユニットが正常に閉じられていない。	R/Wユニットを正常に閉じてください。(7ページ参照)
	カードの異常。 (折れ曲がり・傷・汚れ・寿命)	正常なカードを挿入してください。
	磁気ヘッドの汚れ。	磁気ヘッドをクリーニングしてください。(8ページ参照)
	機器の故障。(上記の対応を行っても症状が改善されない場合)	販売店または当社営業所へご相談ください。
印字が薄いか、文字の一部が印字されない。	R/Wユニットが正常に閉じられていない。	R/Wユニットを正常に閉じてください。(7ページ参照)
	カードの異常。 (折れ曲がり・傷・汚れ・寿命)	正常なカードを挿入してください。
	サーマルヘッドの汚れ。	サーマルヘッドをクリーニングしてください。(8ページ参照)
	機器の故障。(上記の対応を行っても症状が改善されない場合)	販売店または当社営業所へご相談ください。
印字が消え残る。 または、全体が発色する。	連続処理による発色。	機器内部が冷える様に、30秒程間隔をおいて使用してください。
	消去ヘッドの汚れ。	消去ヘッドをクリーニングしてください。(8ページ参照)
	カードの異常(寿命)。 または、指定外のカードを使用している。	新しいカードを挿入してください。または、指定されたカードをご使用ください。

トラブルシューティング

症 状	原 因	対処法
印字が消え残る。 または、全体が発色する。	機器の故障。(上記の対応を行っても症状が改善されない場合)	販売店または当社営業所へご相談ください。
カードが詰まる。	折れ曲がっている・反っている・汚れている・ぬれている等の異常のあるカード、指定以外のカードを挿入した。または、センサー部の汚れ。	電源をOFFにし、R/Wユニットを開いて取出してください(7ページ参照)。取出した後、カード搬送路と磁気ヘッドのクリーニングを行ってください。 または、指定されたカードを挿入してください。
	機器の故障。	販売店または当社営業所へご相談ください。

クリーニングキットでのクリーニングでも汚れが除去できない場合

クリーニングキットでのクリーニングでも汚れが除去できない場合は、以下の方法で機器内部のクリーニングを行ってください。

【用意するもの】

- ・ガーゼまたはやわらかい布など
- ・付属クリーニングキット内のクリーニング液または、クリーニングペン

【クリーニング方法】

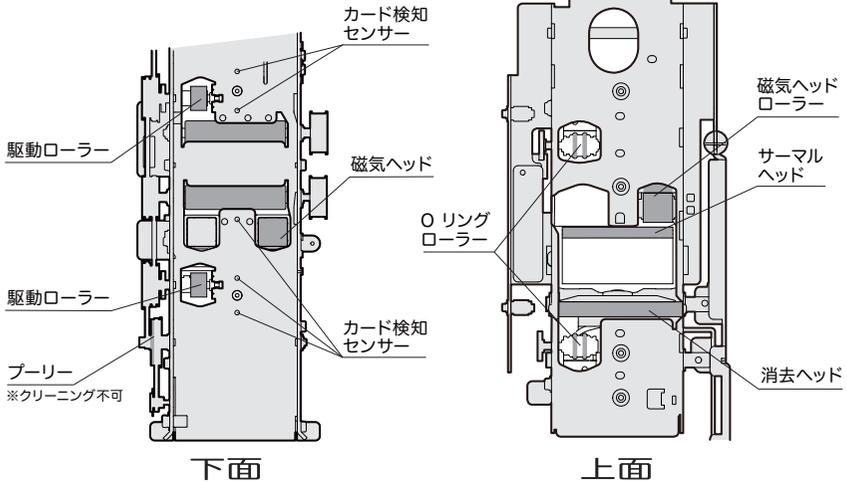
1. R/Wユニットを開ける。(7ページ参照)
2. 用意したガーゼまたはやわらかい布などにクリーニング液をつけ、プーリー以外の次のページの図示の部品を拭いてください。
または、クリーニングペンのペン先で同じくプーリー以外の次のページの図示の部品を拭いてください。

※注意

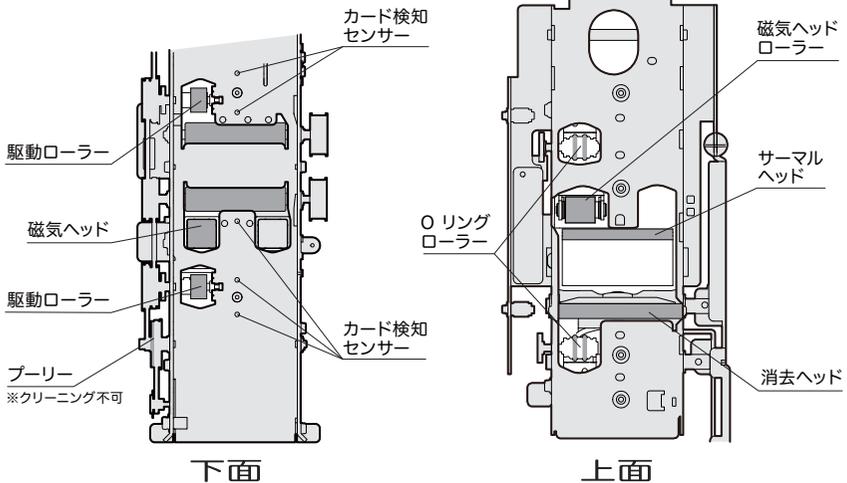
- ・駆動ローラー／プラテンローラーを拭く時は、プーリーを回しながら、拭いてください。
- ・磁気ヘッドは軽い力で拭いてください。
- ・クリーニング液を付けすぎないように注意してください。液が機器の内部に垂れると故障の原因となります。

お手持ちの本体の磁気ヘッドの位置をご確認ください

磁気ヘッドが、カード挿入口から見て右側の場合



磁気ヘッドが、カード挿入口から見て左側の場合





S.M.C.グループ

三和ニューテック株式会社

東日本営業所	東京都千代田区九段北 1-3-1 VORT九段下 7F 〒102-0073 ☎(03)3265-3431(代表) FAX(03)3265-3588
西日本営業所	大阪府大阪市北区西天満 5-1-1 セヤマビル 7F 〒530-0047 ☎(06)4709-7007(代表) FAX(06)4709-7008
九州営業所	福岡県福岡市中央区舞鶴 3-1-2 2 Sビル 5F 〒810-0073 ☎(092)738-8411(代表) FAX(092)738-8423

URL <http://web.sanwa-newtec.co.jp/>